

別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表 (令和7年9月)

情報連絡員数	40	名	回答者数	40	名	回答率	100.0	%
--------	----	---	------	----	---	-----	-------	---

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製 造 業	食 料 品	0	2	2	0	3	1	1	3	0	0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	4	0
	織 維 工 業	1	1	1	0	3	0	2	1	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	1	2
	木 材 ・ 木 製 品	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1
	紙 ・ 紙 加 工 品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	印 刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	化 学 ・ ゴ ム																											
	窯 業 ・ 土 石 製 品	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
	鉄 鋼 ・ 金 属	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	一 般 機 器	1	1	1	0	3	0	2	0	1	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1
	電 気 機 器	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	輸 送 機 器	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0
	そ の 他																											
小 計		4	9	7	0	17	3	8	11	1	0	19	1	2	13	5	0	16	4	1	13	6	0	19	1	0	14	6
非 製 造 業	卸 売 業	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	2	0
	小 売 業	1	3	2	0	6	0	3	3	0	0	5	1	0	4	2	0	4	2				0	6	0	0	4	2
	商 店 街	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0				0	0	1	0	1	0
	サ ー ビ ス 業	0	3	1				0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	4	0	0	3	1
	建 設 業	1	3	0				0	4	0	1	3	0	1	3	0	1	3	0				0	4	0	1	3	0
	運 輸 業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	そ の 他	1	1	0				0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0
小 計		3	14	3	0	9	0	5	15	0	1	17	2	2	14	4	1	16	3				0	19	1	1	16	3
合 計		7	23	10	0	26	3	13	26	1	1	36	3	4	27	9	1	32	7	1	13	6	0	38	2	1	30	9

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和6年9月～令和7年9月)

三重県中小企業団体中央会

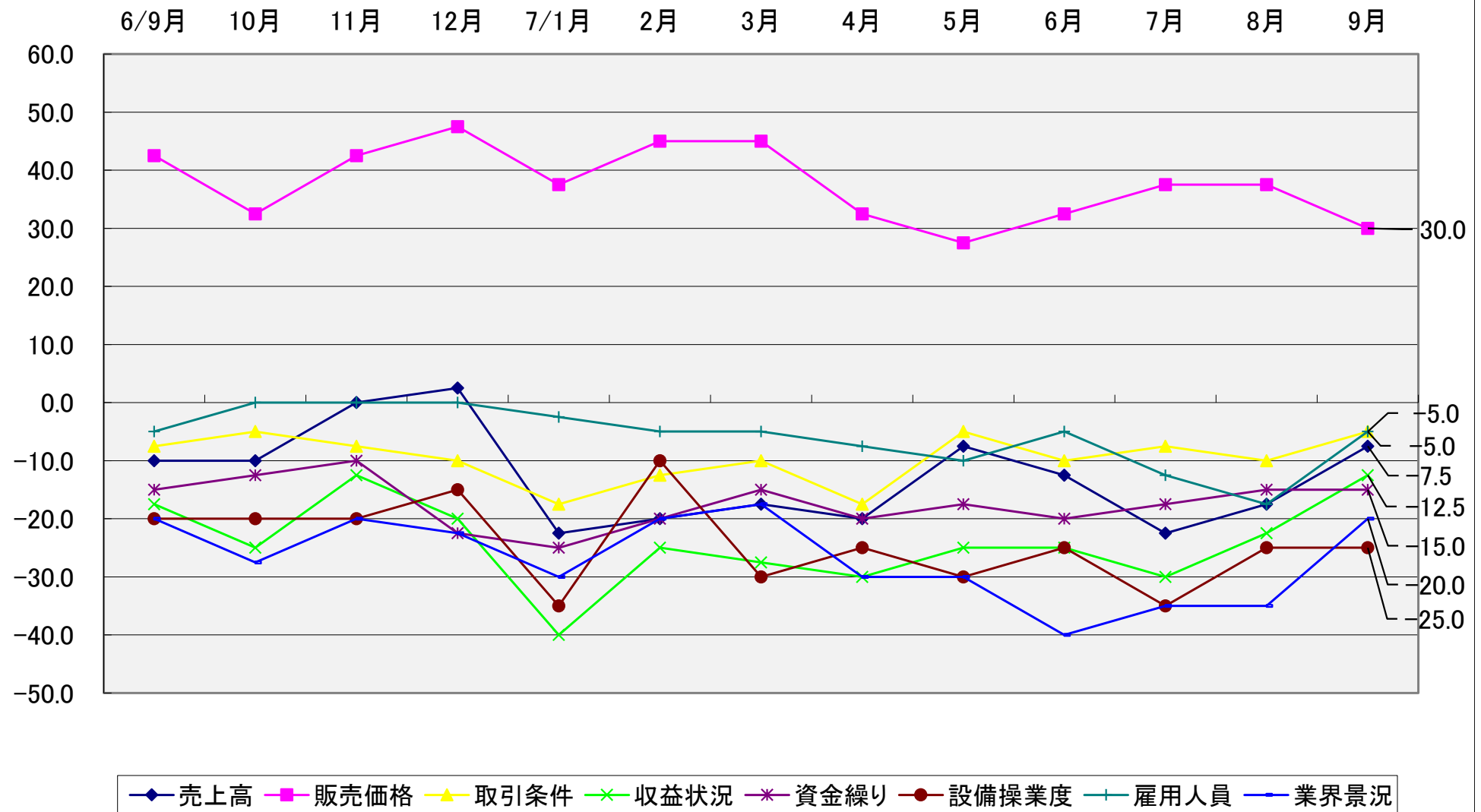
連絡員総数 40 名

	6/9月	10月	11月	12月	7/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	増減
売上高	-10.0	-10.0	0.0	2.5	-22.5	-20.0	-17.5	-20.0	-7.5	-12.5	-22.5	-17.5	-7.5	10.0
販売価格	42.5	32.5	42.5	47.5	37.5	45.0	45.0	32.5	27.5	32.5	37.5	37.5	30.0	-7.5
取引条件	-7.5	-5.0	-7.5	-10.0	-17.5	-12.5	-10.0	-17.5	-5.0	-10.0	-7.5	-10.0	-5.0	5.0
収益状況	-17.5	-25.0	-12.5	-20.0	-40.0	-25.0	-27.5	-30.0	-25.0	-25.0	-30.0	-22.5	-12.5	10.0
資金繰り	-15.0	-12.5	-10.0	-22.5	-25.0	-20.0	-15.0	-20.0	-17.5	-20.0	-17.5	-15.0	-15.0	0.0
設備操業度	-20.0	-20.0	-20.0	-15.0	-35.0	-10.0	-30.0	-25.0	-30.0	-25.0	-35.0	-25.0	-25.0	0.0
雇用人員	-5.0	0.0	0.0	0.0	-2.5	-5.0	-5.0	-7.5	-10.0	-5.0	-12.5	-17.5	-5.0	12.5
業界景況	-20.0	-27.5	-20.0	-22.5	-30.0	-20.0	-17.5	-30.0	-30.0	-40.0	-35.0	-35.0	-20.0	15.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする

企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がりが経営を圧迫する状態が続いている。今年はコメの価格高騰の影響により、コメの消費が減少しており、漬物の消費も伸び悩んでいる。一方で高温乾燥の影響により、秋野菜の初期生育に影響が出ており、秋の原料不足が懸念されている。
		醤油味噌	9月も猛暑が続き、食品業界は秋物商品の販売が低調である。9月に入り新米が出回り始めているが、値段は高止まり状態である。今年の夏は暑さに強い品種、収量増を見込める品種への切り替えを農家は進めてきている。主食米を中心とした転作を進めていることで、味噌の加工用米の減少、もち米からの転作でもち米が減少し、みりんなどに影響が出ている。10月からの政府輸入小麦の価格改定は5銘柄で前期比▲4%で決定した。
		他に分類されない食料品 製造業	学校給食に特化している事業のため、春・夏・冬の休みがあり、8月にはまったく仕事がなく、清掃に努めている。最低賃金の引き上げや社会保険加入により、今年の9月の社会保険金額には驚いた。8月だけの仕事や8月だけのアルバイトを探さなくてはならないかと思う。
		製麺	外国人観光客など多くの人が訪れていることは外食や食品業界にとってはありがたく、今ではなくてはならない状況のように感じられる。伊勢市などは、外国人は少ない状況であるが、今後、式年遷宮が始まってくると多くの人が訪れ、盛り上がりしていく。それに対応するために商品価値の向上、衛生管理に努めていく。今後の組合活動も前向きに組合員が参加するよう取り組んでいく。
	繊維工業	衣料縫製	猛暑の影響もあり秋物の動きが大変悪く、小売りの売上が悪化していて生産者にも過大な影響が出ている。生産数は量が極端に少なくなっている。国内人件費の上昇で、国内での生産はますます苦境に立たされ、海外生産比率が上がり、国内縫製の維持が難しくなっている。
	木材・木製品	木材	建設コストの高騰等で新設住宅着工戸数は不振が続き、国産材製品の荷動きは低調で人件費や配送料等のコスト高騰等もあり、依然として厳しい経営環境が続いている。
		木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題で、従業員の確保も困難である。
	紙・紙加工品	古紙	10月の仕入れ量は段ボールが約90±7%位、新聞、チラシが約93±4%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約95±4%程度である。国内最大手の取引先では段ボール原紙の10月1日からの値上げを発表しており、各製紙会社の年内の製品価格並びに消費動向等が早い時期に上方気運になることを期待する。製紙業界の全部の売上は製紙会社の原紙の売り上げ額が上限となっており、製紙業界・紙等加工販売業界・古紙業界と本流の植林事業・チップ生産事業と関連する運送・石油や電気等のエネルギー・尽力等でリサイクル（無限サイクル）されている。アメリカ合衆国では公定歩合引き下げとなり、日本円の価値が更に認められる政策を希望する。Made In Japanのクオリティーの高い製品がつくり続けられるように人口増加と紙の消費に今後も期待したい。法律制定と執行を望むゴミ等の置き去りや古紙や古着の持ち去りの行為については、より人に優しいより良い社会づくりの為に政治家・政党・関連各所に更なる尽力を求める。
	印刷	印刷	10月10日（金）に発売となる、三重県印刷工業組合が製作・販売する三重県民手帳2026年版が、9月19日に三重県庁での知事会見にて発表された。10月10日の発売日は、三重県庁ロビーにて11時～14時の間に販売会を行う。また、今回は三重県誕生150年にあわせ、特別企画として県関連5施設の割引特典が付いた一冊となる。組合の収益事業として行っているが、販売店が年々減少する中、完売に向けて取組んでいる。
	窯業・土石製品	伊賀焼	デフレや物価高により中小企業は厳しい状況の中、各組合員は頑張って仕事をしている。これから景気が上向くことを期待する。
	鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は堅調な状況である。中心は自動車車載部品関係で、EV関連の受注が相変わらず好調であり、当面安定した業況が見込まれる。
	一般機器	四日市市	米国との関税が一旦決着したことで、多少落ち着きが見られてきたように感じる。また、首相が変わることで良い方向に向かうことを願う。組合員のなかでの業況にあまり変化は見られないが、8月までの状況よりは改善しているような感触はある。
		津市	売上は前年より上がっているが、材料高騰分であり、利益は昨年より下がっている。受注も下がっているが、売上が増えているため錯覚してしまう状況である。最近、海外からの安価な部品が入ってくるため、新規の部品受注の獲得が難しくなってきた。政府からの値上げ要請が続くと中小企業はさらに厳しくなりそうである。
		伊勢市	伊勢の景況としては、わずかに良くなってきた気がする。売上が少し良くなり、底這いは脱した感じである。販売価格が上がり収益状況は改善してきた。自動車関連、工作機械関連の仕事も上期末の駆け込みがあるせいかもしれないが、わずかなづつ良くなってきた感じがする。10月以降は、最低賃金の上昇の影響が危惧される。
	電気機器	鳥羽市	半期末の月であったが受発注は期待したようには動かず、夏の光熱費はデマンドで15%アップと大変な思いをしている。半導体に対する発注は悪くなっている。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	輸送機器	伊勢市	受注は一般機械器具では増加、物量改善により、採算面も前年比で好転し、利益を計上できている。自動車部品は昨年比同程度、若干の安定がみられる。
	小売業	青果	（野菜前半）高温と水不足で青果類の入荷は少なくなっている。北海道ジャガイモの入荷が一気に増え、お買い得になっている。トマト、ミニトマトは高値が続いている。長野産レタスは値下がりがしてきた。シーズンが終わった愛知・岐阜産とは品種の異なる山形産枝豆が味が良いことと、残暑のために9月になってもビールのお供として人気である。（野菜後半）長引く暑さの影響で入荷が少ないが需要が伸びていない。この時期になると種類も多く入荷も増えてくるきのこ類も消費が伸びず、出荷も低調である。徳島・茨城産さつまいも紅はるか、シルクスweetがの入荷が始まった。長野産キャベツが順調で、トマト、キュウリ、ピーマンは高値が続いている。（果物前半）長野産サンつがるが味も良く、今が最盛期である。青森産サンつがる、きおう等早生品種が次々入荷するので、色とりどりの味比べをしてみるのも楽しい。和歌山産種なし柿の入荷が始まって、極早生みかんは県内産が少し酸味があり、味は最高である。価格は昨年に比べ高値である。長野産シャインマスカットパック入りがお買い得である。（野菜後半）青森産、長野産サンつがるが最盛期になり味も美味で価格も少し安く、山梨産、長野産シャインマスカットともに順調に入荷しお手頃価格となっている。ナシは天気に恵まれ、甘味も強い品種は秋月、豊水とも入荷が昨年並みである。極早生みかんは全体的に色づきが遅く価格は高値で推移している。
		自転車	厳しい残暑が続く中、早くも正月のおせち商戦準備が本格化している。名古屋の大手百貨店では20万円以上の豪華なおせちを販売する一方で、1万円～2万円の2段重のお値打ち商品が人気を呼びそうである。一方、食料などへの支出を減らす節約志向は根強く、物価高で家計がひっ迫する傾向は続いている。特に衣服や靴と同様、自転車の購入・買い控えによって売上高はバブルピーク時の半分以上となり深刻な状況となっている。しかし外国人技能実習生等に与える中古自転車の問い合わせは多く寄せられている。組合活動としては9月21日から始まった秋の全国交通安全運動の取組みを各団体と協力し、自転車の交通ルール理解、遵守の徹底及びヘルメット着用の促進運動に参加した。
		電器	残暑と言えない猛暑が続く中、エアコンなど買い替えでの工事は続いているが、商品全体としての売れ行きは少ないように感じる。月終盤に気温も落ち着いてきたのでエアコン等の夏商戦はそろそろ終わると思うが、省エネキャンペーンを活用して実販を進めていきたい。テレビや黒ものに関しても明るい話題もなかなか出てこないで対策を考えるべきなのかというところである。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	石油	本年度も災害時対応実地訓練を桑名地区を中心として実施した。東日本大震災以降、近年では平成28年熊本地震、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨等により、各地で大規模な被害が発生した。また、昨年1月、令和6年能登半島地震により甚大な被害が生じ、自家発電機を備え、災害時の燃料供給の拠点となる、「住民拠点SS」「中核SS」「小口燃料配送拠点」の重要性が改めて認識された。今年度も想定される南海トラフ地震や豪雨災害などに円滑に対応できるようSSに設置された自家発電機等の稼働や緊急車両への燃料供給等実地訓練と併せて、災害時にSSで何が起これるのか、何が必要なのかを学ぶ座学研修も実施する。
	スポーツ	9月22日に総会を開催した。20名のうち出席者は11名、半数が出席とはいえ総会には全員出席してほしい。貯めた資金の使い道についての議論がなされ、組合員に対して物価高騰による支援金を出す方向で話を進めることとした。
商店街	熊野市	9月に入り、訪日観光客も徐々にではあるが見受けられるようになり、観光に携わる店舗等はそれなりの需要があり全体的には回復傾向にある。ただ、いまだに物価の上昇は止まらない状況の為、仕入れ価格も上昇が続いており、経常的に厳しい店舗も見受けられる。
サービス業	旅館	9月で台風の襲来が一度も無く恵まれ、足止めされたことも無かったが、暑さ続きでクーラーを効かせた家で過ごされていたのか、客足は鈍かった。「大阪万博」夏休みから入場者が急増していて、団体、ツアー客がそちらへ流れたことも大きく影響したようだ。対前年比80～90%、2019年同月比で50～70%程度だった。三重を訪れるお客様を1人でも増やすよう官民を挙げて取り組む必要を感じた。
	警備	猛暑日の連続で従業員の健康管理には十分に配慮をした。対策として、今後は作業時間の変更や夜間作業などの検討を考えてもらっているが、早期実現に向けてお願いをしたい。
建設業	総合工事業	令和7年8月の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月と比べて若干の減少となっている。内訳でみると、県は堅調だが、国と市町でいずれも減となっている。
	内装工事業	9月是对前年同月比で大幅な増加となった。ただし、物価高による原材料価格の高騰により建築関係の受注は鈍いので、業況は思ったほど良くなく、厳しい状況である。
	水道工事業（亀山市）	亀山市からの漏水業務委託も前期が終了した。漏水修理の受注高は30%増です。また、量水器取替えの業務委託は10月が最終の取替え日となった。前期は無災害で業務を終了することができた。資材についても価格の高止まり傾向、人件費の値上げ等工事価格に直接影響があり、受注時の問題となっている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	他に分類されない食料品製造業	物価高、燃料費高騰等、影響は大きく加工賃のアップをお願いしたい。交渉をしてくれるのだろうか。
繊維工業	衣料縫製	中小企業対策をもっと考えてもらわないと国の土台を担っている中小企業がどんどん減少してしまう。政治家にもっとしっかりと要望して欲しい。
一般機器	四日市市	ガソリン暫定税率の廃止や消費税減税に期待する。値上げを行っているが、社会保険料等の増加で手取りが思ったほど増えないことと、企業の負担が大きくなっている。物価高騰対策として減税、社会保険料の見直しは行ってほしい
サービス業	旅館	売上が少ないところへ諸物価の値上がりにより原価、諸経費増によってキャッシュフローが少ないのが最も苦しいところである。何らかの対策をお願いしたい。課題や山積している中でも、具体的には①電気料金の「再エネ賦課金」の撤廃、②金融支援策の早期実現をお願いしたい。